

平成30年11月4日(土) 15時30分～16時

大人のためのブックトーク

出演者 JPIC しののの皆さん

プログラム

1. 北原 まりさん (第15期読書アドバイザー・安曇野市立図書館司書)
『ヨーコさんの"言葉"わけがわからん』佐野 洋子/文 北村 裕花/絵 講談社
『未来の年表 2』河合 雅司/著 講談社
2. 川船 美保さん (第19期読書アドバイザー・松本市立二子小学校図書館司書)
『みさき食堂へようこそ』香坂 直/著 講談社
3. 井出 明子さん (第22期読書アドバイザー・市立小諸図書館勤務)
『緑の庭で寝ころんで』宮下 奈都/著 実業之日本社
4. 大池 和美さん (第20期読書アドバイザー・市立小諸図書館勤務)
『小さな家のローラ』ローラ・インガルス・ワイルダー/作 安野 光雅/絵 朝日出版社
5. 矢崎 恵美子さん (第11期読書アドバイザー・諏訪市立図書館副館長)
(千葉 茂樹翻訳の絵本)
『ふしぎなガーデン 知りたがりやの少年と庭』ピーター・ブラウン/著 ブロンズ新社
『こんな家に住んでたら』ジャイルズ・ラロッシュ/著 偕成社
6. 越高店長 (第1期読書アドバイザー・松本の児童書専門店「ちいさいおうち」)
(東北の夏) をテーマに3冊
『送り火』高橋 弘希/著 文芸春秋
『おらおらでひとりいぐも』若竹 千佐子/著 河出書房新社
『銀河鉄道の父』門井 慶喜/著 講談社



JPIC しのののは、長野県内で活動している「読書アドバイザー」の会員の皆さまです。会員それぞれのお立場から読書推進活動を日々実践されています。サロンでは、それぞれが、本の内容を気持ちを込めて、又、趣向を凝らして発表くださいました。どの本も、つつい手に取って読んでみたくなりました。